2026年11月13日

各 位

会 社 名　株式会社第一ライフグループ
代表者名　代表取締役社長グループCEO 菊田 徹也
（コード番号：8750　東証プライム）
問合せ先　経営企画ユニット　IR グループ
（TEL　03-3216-1222（代））

株式会社第一ライフグループ
2027年3月期 第2四半期決算概要資料

2027年3月期
第2四半期
決算報告

2026.11.13

株式会社第一ライフグループ



目次・為替レート

- 本日のポイント　3

※グループ各社のデータ等につきましては、当社HPにて掲載いたします。
https://www.daiichilife-group.com/investor/library/download/

為替レート

	米ドル/円	ユーロ/円	豪ドル/円
2026/9末	157.35円	178.34円	109.96円
2026/6末	162.39円	185.35円	111.56円
2026/3末	159.88円	183.41円	109.68円
2025/12末	156.56円	184.33円	104.82円
2025/9末	148.88円	174.47円	97.89円
2025/6末	144.81円	169.66円	94.50円
2025/3末	149.52円	162.08円	93.97円
2024/12末	158.18円	164.92円	98.50円
2024/9末	142.73円	159.43円	98.73円

（1）　本資料内においては、内部モデルを用いて算出したESRについて、「ESR」と呼称しています。
（2）　ESRは、経済価値ベースの所要資本に対する経済価値ベースの適格資本の割合を示す指標です。ESRはマネジメントの判断に供することを目的として経済価値ベースの新たなソルベンシー規制（J-ICS）等を参考に算出しています。なお、算出にあたっては一部簡易的な計算方法を用いており、計算方法および算出結果の正当性・妥当性について第三者機関等による検証・レビューは受けていません。

Copyright © 2026 Daiichi Life Group, Inc.

今回決算のポイント

グループ修正利益はDLが牽引し進捗率55%、前年同期比で大幅増益

Daiichi Life Group

グループ修正利益
2027年3月期
2Q累計

3,077億円

前年同期比 +33%
DLで順ざや・有価証券売却益が想定を上回るなど引き続きグループを牽引
通期見通し5,600億円に対して進捗率約55%

Topic　2026年9月3日付でM&Gを持分法適用関連会社化

修正ROE
（年換算）

約12.9%

順調な利益積み上げと株式売却の進捗により、安定して12%を超える水準に

新契約実績
2027年3月期
2Q累計

新契約ANP
2,888億円

前年同期比 +8%（為替影響除き +4%）
国内は横ばいも、海外が前年同期を上回る堅調な進捗

新契約価値
（概算値）
約900億円

進捗率：約48%（うち国内：42%　うち海外：55%）
国内3社は想定を下回るも、PLCが好調。グループ全体で概ね予算並みの進捗

グループESR
2026年9月末：概算値

約211%

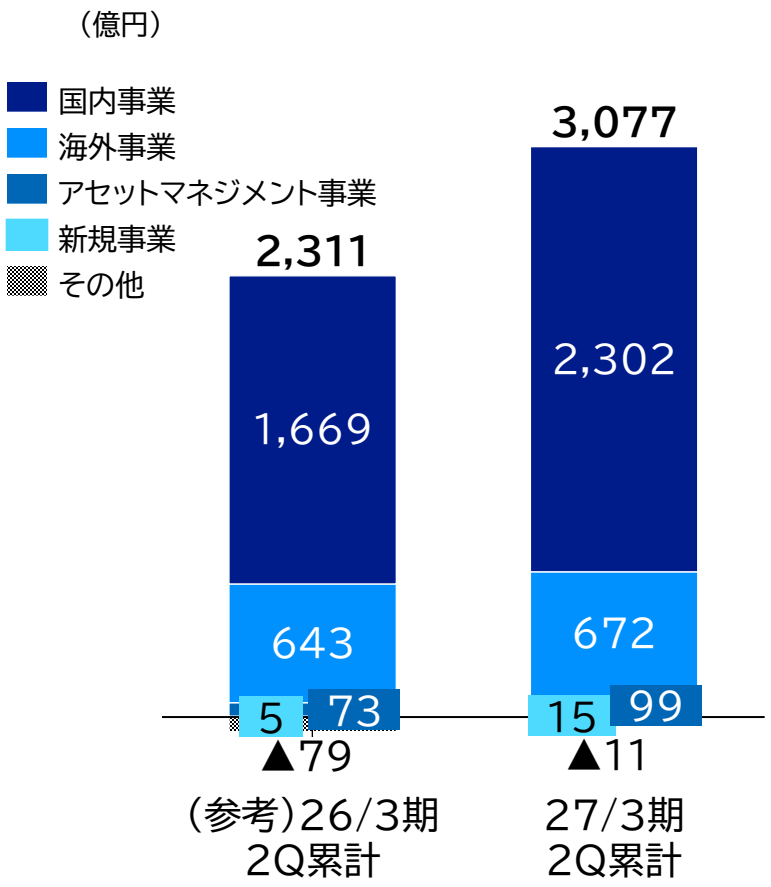
前期末比 約▲9%pt
国内株価上昇等により適格資本は増加したものの、国内金利上昇に伴う
大量解約リスクの増加、M&A案件によるのれん増加等の影響で低下

Copyright © 2026 Daiichi Life Group, Inc.

通期見通しに対する進捗

国内事業が好業績を維持し、通期見通しに対して順調な進捗

グループ修正利益



進捗率
（通期見通し対比）

国内事業(1)

- （DL）利配増により順ざやが上振れた他、有価証券売却益の上振れもあり予算を超過
- （DFL）AUMは着実に増加も、金利上昇に伴う円建保険に係る危険準備金の繰入増加により、予算を下回る

57%

海外事業

- （PLC）金利上昇に伴いデリバティブ（金利低下ヘッジ）から損失が発生し、予算を下回る
- （TAL）1Q比で保険金支払増の傾向に改善の兆しが見られるも、予算を下回る
- （DLVN）バンカチャネルのアップフロントフィー減損の影響により予算を下回る

41%

アセットマネジメント事業

- 1Qに出遅れていたCapulaの業績回復に加え、AMOやCPも堅調な業績を維持したことから予算を超過

44%

新規事業

- （BO）福利厚生事業・ヘルスケア事業において好調を維持したほか、事業費抑制効果もあり、予算並み

49%

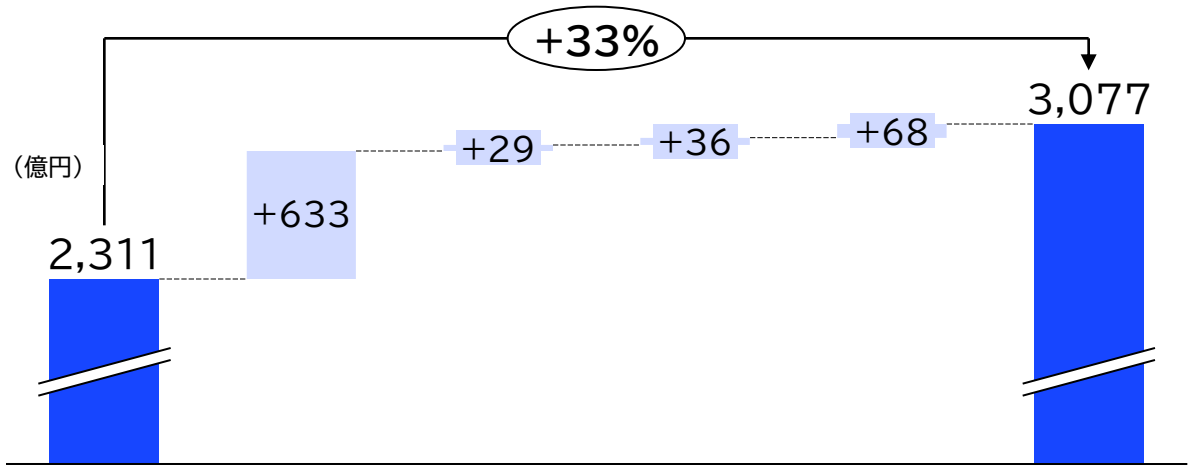
（1）事業別・通期予想比については、DFL・DNLにおけるグループ内再保険に係る損益等を調整した数値を表示

Copyright © 2026 Daiichi Life Group, Inc.

前年同期比較

国内事業が牽引し、グループ修正利益は前年同期比＋33%の増益

グループ修正利益・前年同期比増減



	26/3期 2Q累計	国内	海外	非保険	HDその他	27/3期 2Q累計
		DL +577 DFL +57	PLC ▲8 TAL +60 DLVN ▲14	AMOne +6 CP +13 Capula +13 DMRE ▲7 BO +10	DLRB +108 HD等 ▲39	
27/3期 2Q累計	2,302	672		114	▲11	3,077
26/3期 2Q累計	1,669	643		78	▲79	2,311

国内事業

- (DL)国内株式売却の進捗によりキャピタル損益が増加したほか、円建債券の入替え等による順ざやの増加も寄与し、大幅増益
- (DFL)AUM増加に伴う保険関係損益の増加を主因に増益

海外事業

- (PLC)代理店子会社売却に伴う前年同期の一時益の剥落により減益
- (TAL)Challengerの利益貢献を含む基礎的収益力の改善により増益
- (DLVN)バンカチャネルのアップフロントフィー減損により減益

アセマネ/新規事業

- (AM事業)CP、Capula、AMOなどの利益増加により増益
- (BO)福利厚生事業を中心とする顧客拡大に伴う増収により増益

HD・その他

- (DLRB)社債スプレッドの縮小に伴う資産時価の回復等により増益
- (HD等)事業費や支払利息の増加等により減益

Copyright © 2026 Daiichi Life Group, Inc.

国内金利上昇に伴う影響

- 国内金利の上昇を捉えた責任準備金対応債券の入替えにより、円建債券ポートフォリオの利回り改善が継続し、2Q累計の順ざや改善効果は約250億円
- DLでは一時払貯蓄性商品の解約率が上昇傾向にあるものの、金利変動に備えマッチング比率は87%と抑制的にコントロールすることで業績影響は限定的
- ESRは金利上昇に伴う大量解約リスクの増加等により前年度末比9%pt低下したものの、約211%と十分な水準を維持

国内金利の状況(1)

	10年	30年
25/3末	約1.5%	約2.5%
	(+20bps) <	(+60bps)
25/9末	約1.7%	約3.1%
	(+70bps) >	(+60bps)
26/3末	約2.4%	約3.6%
	(+70bps) >	(+50bps)
26/9末	約3.1%	約4.1%

金利上昇による影響

資産運用（DL）

順ざや

詳細:p8

- 金利上昇局面を捉えた債券入替えにより、円確利ポートフォリオの利回りの改善が継続

27/3期2Q累計
オペレーションによる効果
＋ 約250億円

リスクモニタリング

マッチング比率

- 金利変動を念頭においた責任準備金対応債券の入替えを通じて、引き続き100%以下で安定的にコントロール

26/9末
87%
（26/3末比: 横ばい）

解約率(DL・DFL)

p9

- DLの解約率は一時払貯蓄性商品で上昇の傾向が見られるものの、業績への影響は限定的
- DFLの解約率は引き続き低位安定

（DL）一部商品で上昇傾向
（DFL）低位で安定

経済価値

EV(2)

- M&Aに伴うのれん増加等で減少した一方で、国内株価上昇の影響が上回り、グループEVは前期末比で約0.5兆円増加

26/9末
約10.1兆円
（26/3末比 +5%）

ESR(2)

p12

- 株価上昇による適格資本の増加はあったものの、金利上昇に伴い解約リスク(大量解約リスク)が増加したことで、ESRは前期末対比で低下

26/9末
約211%
（26/3末比 ▲9%pt）

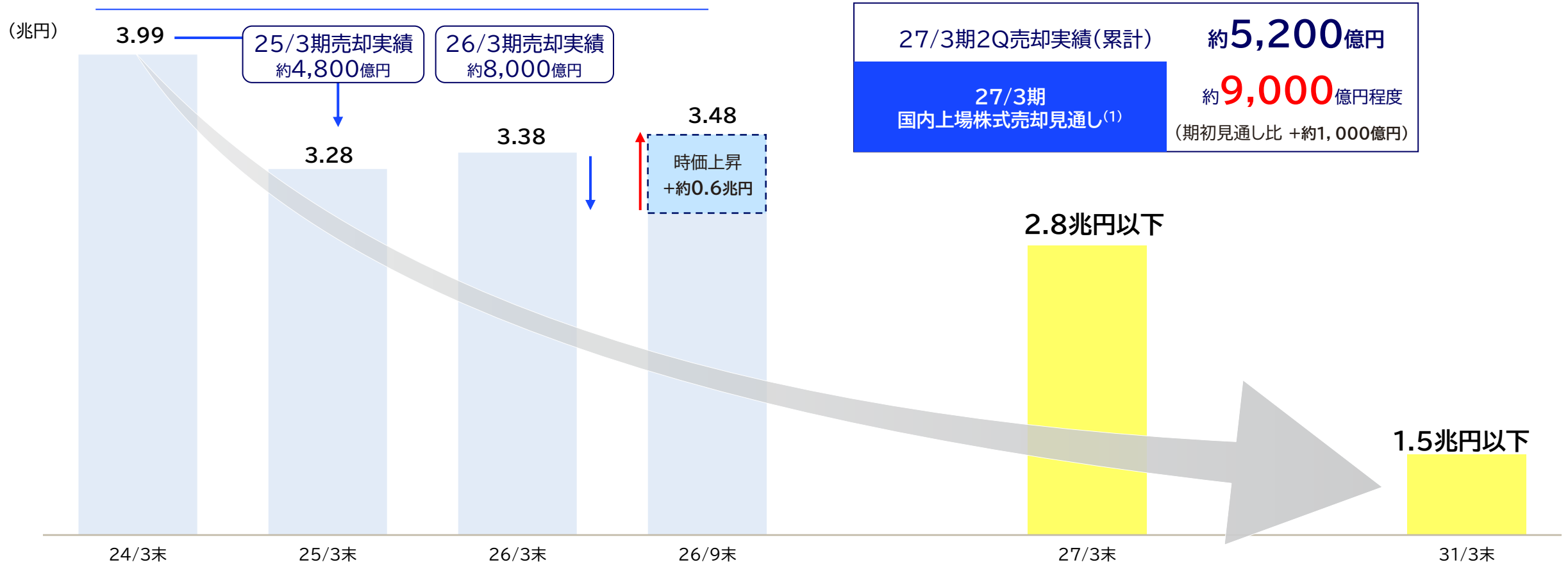
(1) 出所:財務省 (2) 概算値

Copyright © 2026 Daiichi Life Group, Inc.

国内株式の売却は順調に進捗も、株価上昇を受け株式残高は増加

- 株価上昇の市場環境を捉え、2Qまでに国内株式約5,200億円を売却。9月末時点の経済環境前提においては、27/3期の売却見通しは約9,000億円程度となり、期初見通しから約1,000億円程度上振れる見通し
- 引き続き株価上昇による時価増加が売却額を上回り、26年9月末の国内株式残高は約3.5兆円。3Q以降も計画的な売却を継続する

DL国内株式残高の推移と見通し



27/3期2Q売却実績（累計）	約5,200億円
27/3期 国内上場株式売却見通し(1)	約9,000億円程度（期初見通し比 +約1,000億円）

(1) 2026年9月末の経済環境を前提とした試算値

Copyright © 2026 Daiichi Life Group, Inc.

国内債券ポートフォリオの入替えが想定を上回って進展し、順ざや改善が加速

- 株価上昇を受けた株式売却益の上振れおよび国内金利の上昇を背景に、円確定利付資産の入替えは2Qも引き続き順調に進捗。2Q時点までに約8,000億円の入替えを実施し、順ざやは着実に拡大
- 9月末以降の株価下落の影響はあるものの、上半期の株式売却益の上振れを踏まえると、27/3期の円確定利付資産の入替え規模は引き続き期初想定を上回る見通し

[DL]国内債券ポートフォリオの入替え

27/3期2Q実績(累計)

入替え額およびP/L影響

円確定利付資産入替え	約 8,000億円
入替えに伴う売却損:	約 3,300億円

順ざや改善効果
250億円(1)/年程度
(終利改善効果(5) +14bp)

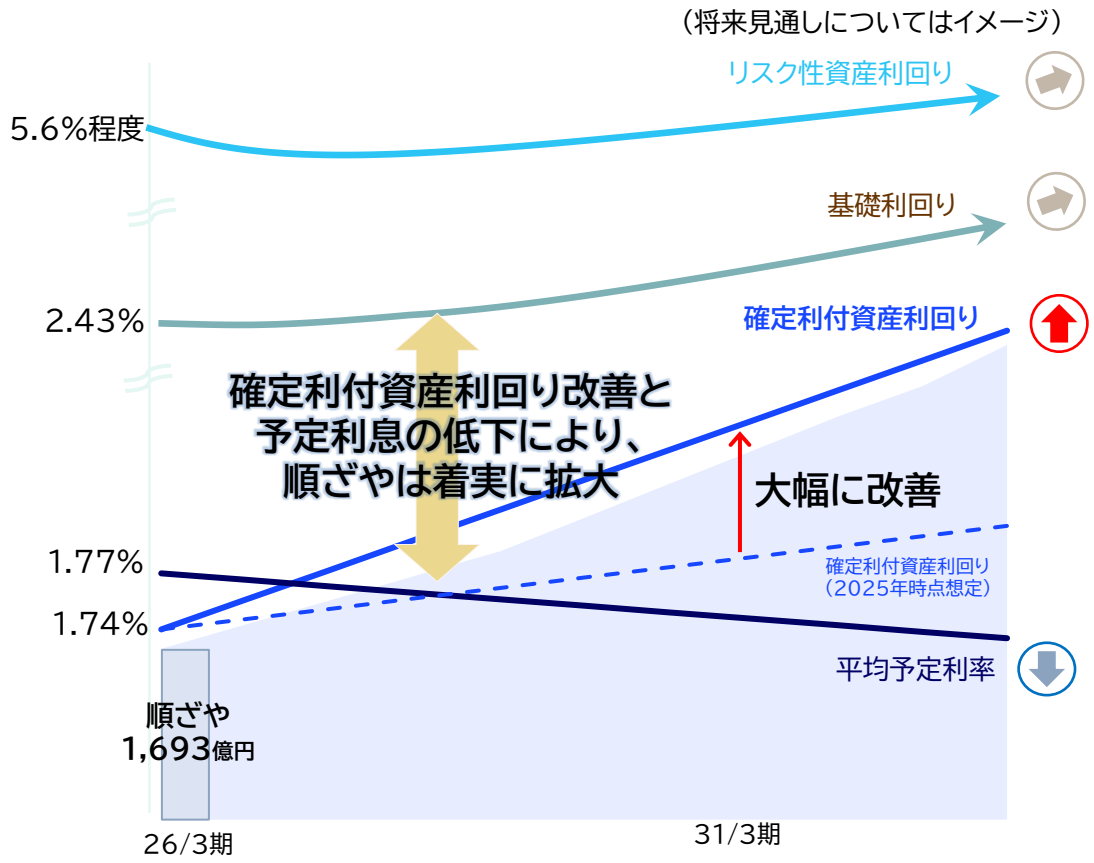
通期見通し(27/3期)(3)

国内債券入替え想定額(4)
期初想定から上振れる見通し

順ざや改善効果
340億円(1)/年程度
(うち27/3期寄与は260億円)

売却損見通し
5,400億円程度

[DL]順ざやと資産別利回り・平均予定利率の推移と見通し(2)



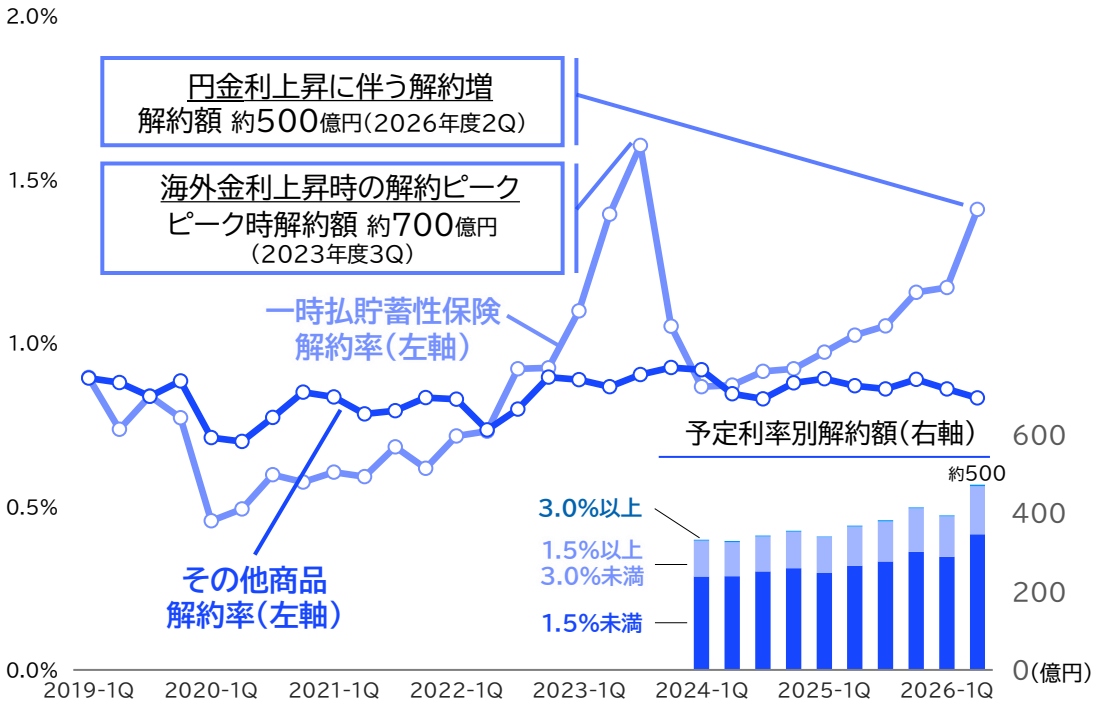
(1) 年換算ベース (2) 2026年3月末の経済環境を前提とした試算 (3) 2026年9月末の経済環境を前提とした試算 (4)責任準備金対応債券の入替え想定額 (5) 円貨建債券簿価終利ベース

Copyright © 2026 Daiichi Life Group, Inc.

第一生命 - 貯蓄性商品の解約リスク

- DLにおける一時払貯蓄性保険の責任準備金残高は2.9兆円であり、個人保険・個人年金全体(21.1兆円)に占める割合は一定に留まる
- 円金利上昇に伴い、予定利率の低い一時払貯蓄性保険の解約率は上昇しているものの、2026年度2Qの解約額は約500億円に留まる。金利上昇への備えとしてデリバティブ等を用いたヘッジポジションを構築済みであり、業績影響は限定的

貯蓄性商品における解約率(1)と予定利率別解約額の変遷(5)



低予定利率ブロック(2)における貯蓄性商品別責任準備金残高の状況(5)

(兆円)	責任準備金残高	
一時払貯蓄性保険	2.9	一時払終身保険が該当。他商品比で金利上昇に伴う解約が発生しやすい。2016年に販売停止
うち予定利率1.5%未満	1.8	
平準払貯蓄性保険	1.3	養老保険・終身保険が該当。保障機能を兼備し、金利上昇に伴う解約は相対的に発生しづらい
平準払個人年金	3.2	保障機能は具備していないが、再加入時には改めて解約控除期間が発生。保障見直し(3)は発生する可能性がある
個人保険・個人年金全体(4)	21.1	

(1) ANPベース。四半期毎の解約実績を各期央にプロット (2) 2000年代に予定利率を大きく引き下げて以降の契約(予定利率2.75%未満)を抽出(特別勘定を除く) (3)責任準備金を新契約に移行する(転換制度))等、契約内容の見直しを行うこと
(4) 低予定利率ブロック以外も含む契約全体 (5) 2026/9末時点

Copyright © 2026 Daiichi Life Group, Inc.

主要子会社別｜27/3期2Q 修正利益進捗状況

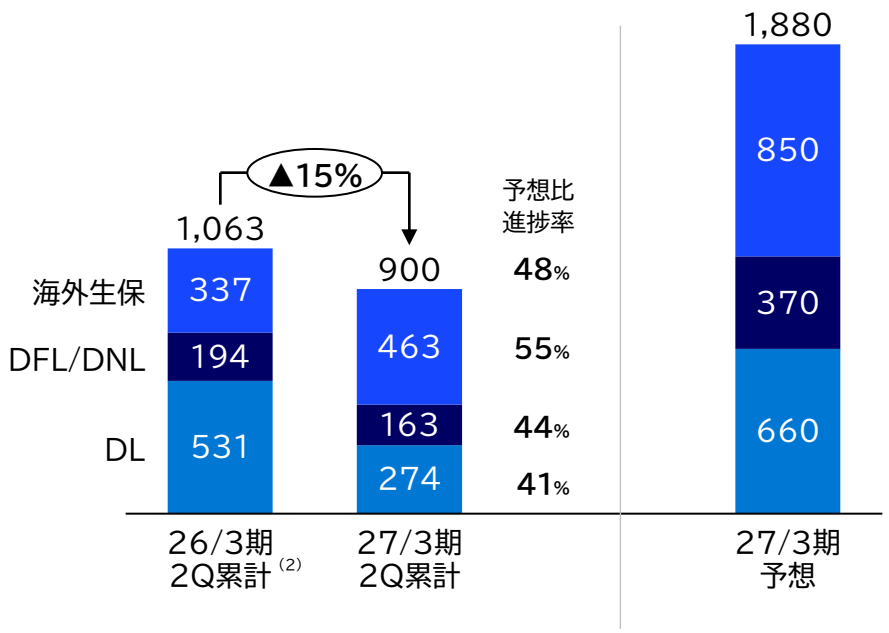
（単位:億円）	27/3期 2Q累計 実績	26/3期 2Q累計 実績	前年同期比	主な増減要因	27/3 通期予想	進捗率
第一生命	2,162	1,586	+ 577	[+] 円債・オルタナ利配増、予定利息支払減による順ざや改善、有価証券売却損益の増加	3,710	58%
第一フロンティア生命	159	103	+ 57	[+] AUM増加に伴う保険関係損益の増加 [−] 円金利上昇に伴う危険準備金積立ての増加	385	41%
第一ネオ生命 第一アイペット損保	▲ 19	▲ 19	▲ 0	-	▲ 45	-
PLC	361	369	▲ 8	[−] 前期の傘下代理店売却に伴う一過性要因の剥落	845	43%
オセアニア	278	220	+58	[+] (TAL) Challengerの利益貢献を含む基礎的収益力の改善	640	43%
アジア・その他海外	33	54	▲ 20	[−] (DLVN)バンカチャネルのアップフロントフィー減損	155	22%
アセットマネジメント事業	99	73	+ 26	[+] 資金フロー伸展(Capula・AMO)、パフォーマンスフィーの回復(CP)	225	44%
ベネフィット・ワン	15	5	+ 10	[+] 福利厚生事業の会費収入増加や経費抑制	30	49%
DLRB	143	35	+ 108	[+] 資産スプレッドが縮小したことによる評価損解消	165	86%
HD・その他	▲ 153	▲ 114	▲ 39	[−] 事業費・支払利息の増加	▲ 450	-
合計	3,077	2,311	+ 767		5,600程度	55%

Copyright © 2026 Daiichi Life Group, Inc.

契約実績 – 新契約価値 / 新契約・保有年換算保険料

- 新契約価値は、DLにおける前年度末のモデル改訂や保険前提変更等により対前年で大きく減少し、グループ全体で▲15%の約900億円。通期見通し対比では、国内3社がインフレ率の上昇等により想定を下回るも、PLCの好調な販売等により海外が増加し、グループ全体で概ね予算並みの進捗
- 新契約年換算保険料は、国内が概ね横ばいとなる一方、PLCのリタイアメント事業における定額年金の好調な販売、TALで団保の契約更改等が寄与し、グループ全体で前年同期比+7.6%の2,888億円(為替影響除き+3.8%)

新契約価値(概算値)(1)



(億円)	新契約年換算保険料 26/3期 2Q累計	新契約年換算保険料 27/3期 2Q累計	新契約年換算保険料 前年同期比	保有契約年換算保険料 26/3末	保有契約年換算保険料 26/9末	保有契約年換算保険料 前期末比
国内4社計	**1,930**	**1,922**	**▲ 0.4%**	**35,578**	**36,117**	**+1.5% (+1.8%)**
DL	530	527	▲0.6%	19,620	19,654	+0.2%
DFL	1,291	1,289	▲0.2%	14,463	14,927	+3.2% (+4.0%)
DNL	72	72	▲1.0%	1,049	1,067	+1.7%
DIPT	37	35	▲5.8%	445	468	+5.1%
海外6社計	**754**	**966**	**+28.1% (+14.5%)**	**18,758**	**19,730**	**+5.2% (+2.9%)**
PLC	543	709	+30.7% (+16.5%)	9,985	10,547	+5.6% (+1.8%)
TAL	94	146	+55.1% (+38.1%)	6,865	7,226	+5.2% (+5.0%)
PNZ	26	26	▲2.7% (▲5.7%)	642	649	+1.1% (+4.3%)
DLVN	81	62	▲23.0% (▲30.7%)	1,200	1,224	+2.0% (▲1.7%)
DLKH/DLMM	10	23	+129.2% (+104.7%)	66	85	+27.7% (+23.1%)
Daiichi Lifeグループ計	**2,684**	**2,888**	**+7.6% (+3.8%)**	**54,336**	**55,846**	**+2.8% (+2.2%)**

増減率の下段()は為替変動の影響を除く変化率

(1)確定値は11/27に公表予定　(2) 前年同期は計測モデル変更前の数値

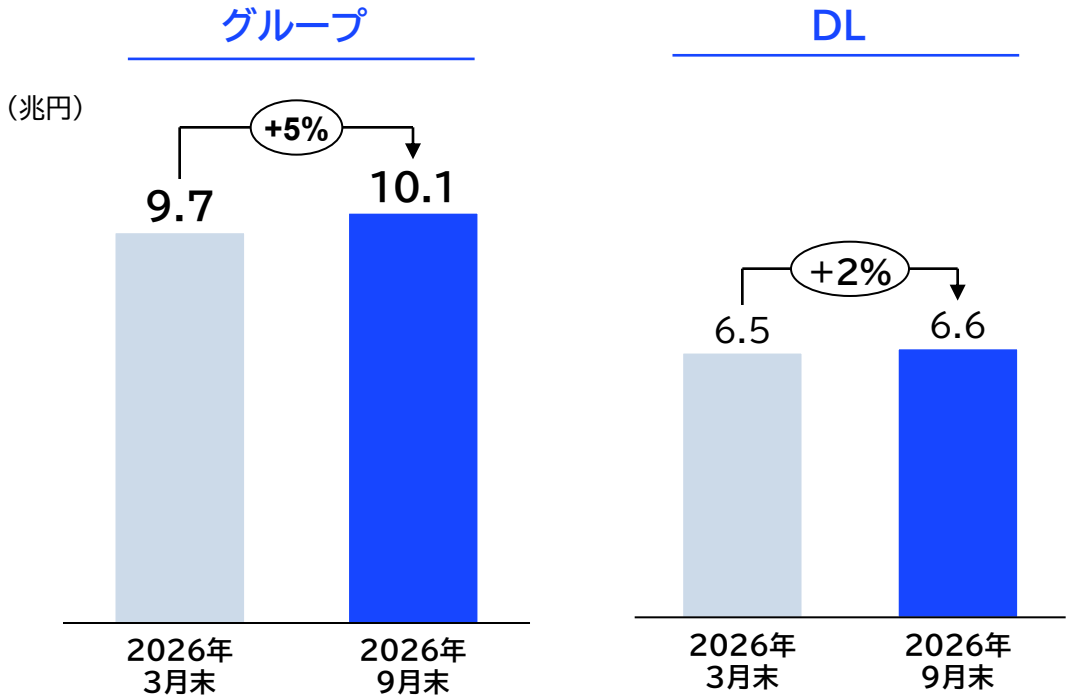
Copyright © 2026 Daiichi Life Group, Inc.

経済価値(グループESR・グループEV)※概算値

- グループEVは、M&A案件ののれん増加やインフレ率上昇等の減少要因を新契約価値・期待収益およびDLの国内株価上昇の影響が上回り、前期末比+5%増の約10.1兆円
- 資本充足率(グループESR)は、グループEVと同様の理由で適格資本が増加した一方、国内金利上昇による大量解約リスクの増加等により所要資本が増加したことで、前期末比約▲9%pt減少の約211%

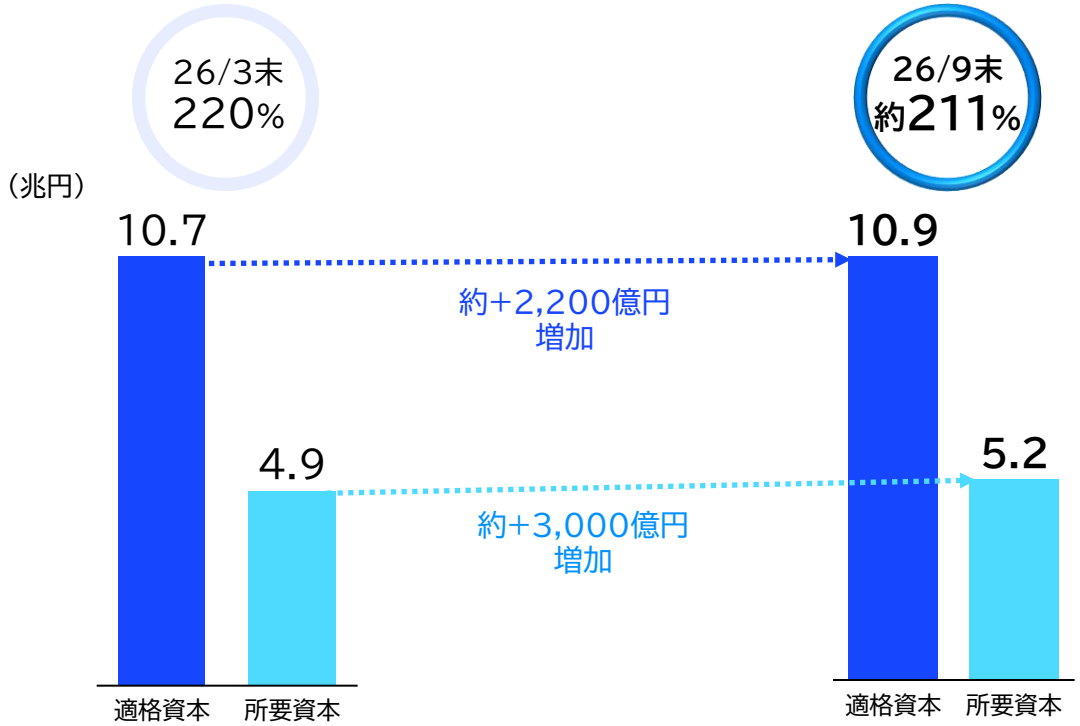
グループEV ※概算値

26/9末 **約10.1兆円** (前期末比) +5%



資本充足率(グループESR) ※概算値

26/9末 **約211%** (前期末比) 約▲9%pt



Copyright © 2026 Daiichi Life Group, Inc.

27/3期 通期業績予想

(億円)	26/3期 2Q(累計)	27/3期 2Q(累計)	前年同期比	(%)	対通期予想(今回)進捗率	26/3期 通期実績	27/3期 通期予想	前期比	(%)
連結経常収益	**51,141**	**58,044**	**+ 6,903**	**+ 13%**	**54%**	**113,083**	**106,660**	**▲ 6,423**	**▲ 6%**
第一生命	20,676	26,768	+ 6,093	+ 29%	57%	46,992	46,700	▲ 292	▲ 1%
第一フロンティア生命	15,646	15,933	+ 287	+ 2%	45%	37,735	35,040	▲ 2,695	▲ 7%
米プロテクティブ (百万米ドル)(1)(3)	6,535	7,624	+ 1,090	+ 17%	77%	13,479	9,900	▲ 3,579	▲ 27%
豪TAL (百万豪ドル)(1)	4,402	4,523	+ 121	+ 3%	59%	8,540	7,620	▲ 920	▲ 11%
連結経常利益	**3,352**	**4,588**	**+ 1,236**	**+ 37%**	**53%**	**7,537**	**8,690**	**+ 1,153**	**+ 15%**
第一生命	2,740	3,637	+ 896	+ 33%	55%	6,528	6,620	+ 92	+ 1%
第一フロンティア生命	188	105	▲ 83	▲ 44%	18%	292	590	+ 298	+ 102%
米プロテクティブ (百万米ドル)(1)(3)	160	345	+ 185	+ 116%	54%	149	640	+ 491	+ 330%
豪TAL (百万豪ドル)(1)	355	354	▲ 1	▲ 0%	49%	501	720	+ 219	+ 44%
連結純利益(2)	**2,031**	**2,838**	**+ 807**	**+ 40%**	**55%**	**4,366**	**5,130**	**+ 764**	**+ 17%**
第一生命	1,586	2,162	+ 577	+ 36%	58%	3,779	3,710	▲ 69	▲ 2%
第一フロンティア生命	112	54	▲ 58	▲ 52%	14%	187	390	+ 203	+ 109%
米プロテクティブ (百万米ドル)(1)(3)	136	281	+ 145	+ 107%	55%	127	510	+ 383	+ 301%
豪TAL (百万豪ドル)(1)	251	262	+ 11	+ 4%	48%	363	540	+ 177	+ 49%
グループ修正利益	**2,311**	**3,077**	**+ 767**	**+ 33%**	**55%**	**5,515**	**5,600程度**	**+ 85**	**+ 2%**
グループ新契約価値	**1,063**	**900**	**▲ 163**	**▲ 15%**	**48%**	**1,738**	**1,880程度**	**+ 142**	**+ 8%**
					1株あたり配当(円)	**54.5**	**72**	**+ 17.5**	**+ 32%**
(参考)基礎利益	2,690	3,769	+ 1,079	+ 40%	58%	6,295	6,500程度	+ 205	+ 3%
第一生命	1,566	2,099	+ 533	+ 34%	58%	3,727	3,600程度	▲ 127	▲ 3%

(1) PLCおよびTALの数値は、各国の会計基準で作成した財務諸表を当社の開示基準に準じて組み替えた上で開示 (2) 親会社株主に帰属する当期純利益
(3) LDTI(Long-Duration Targeted Improvements)を適用したことに伴い、26/3期の数値についてもLDTIベースに遡及適用

Copyright © 2026 Daiichi Life Group, Inc.

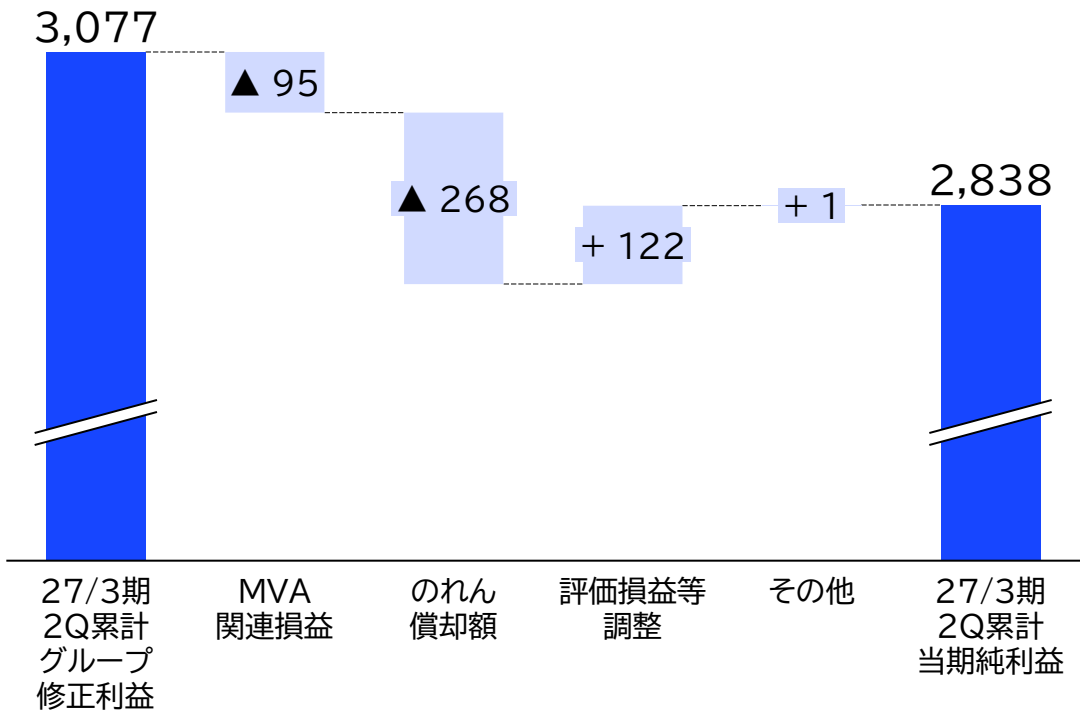
修正利益→当期純利益

(参考)修正利益と当期純利益の差異は限定的

- 修正利益と当期純利益の差異は、M&A実行に伴うのれん償却に加え、市場変動に伴うMVA関連損益と評価損益等調整により生じる
- MVA関連損益のマイナス寄与を評価損益等調整のプラス寄与が相殺し、修正利益と当期純利益の差異は限定的

修正利益・当期純利益 主な差異要因

(億円)



	27/3期 2Q累計	主な要因
MVA関連損益	▲95	[−] 豪金利変動に伴うMVA関連損益悪化
のれん償却額	▲268	[−] M&A実行による償却額増加
評価損益等調整	+122	-
その他	+1	-

Copyright © 2026 Daiichi Life Group, Inc.

グループ会社一覧・出資比率・決算期

国内保険事業			出資比率	決算期
DL	第一生命		100%	4-3月
DFL	第一フロンティア生命		100%	
DNL	第一ネオ生命		100%	
DIPT	第一アイペット損保		100%	

海外保険事業				
PLC	プロテクティブ	[米国] Protective Life Corporation	100%	1-12月
TAL	TAL	[豪州] TAL Daiichi Life Australia	100%	4-3月
PNZ	パートナーズ・ライフ	[ニュージーランド] Partners Group Holdings	100%	
DLVN	第一ライフ・ベトナム	[ベトナム] Daiichi Life Insurance Company of Vietnam	100%	1-12月
DLKH	第一ライフ・カンボジア	[カンボジア] Daiichi Life Insurance (Cambodia)	100%	
DLMM	第一ライフ・ミャンマー	[ミャンマー] Daiichi Life Insurance Myanmar	100%	
SUD	スター・ユニオン・第一ライフ	[インド] Star Union Dai-ichi Life Insurance Company	47.4%	4-3月
PDL	パニン・第一ライフ	[インドネシア] PT Panin Dai-ichi Life	40%	1-12月

非保険事業(アセットマネジメント事業・新規事業)				
AMO	アセットマネジメントOne		49%(議決権) 30%(経済持分)	4-3月
AMO(US)	アセットマネジメントOne(USA)	[米国] Asset Management One USA	49%(議決権) 30%(経済持分)	1-12月
VTX	バーテックス・インベストメント・ソリューションズ		100%	4-3月
CP	キャニオン・パートナーズ	[米国] CP New Co	19.9%	1-12月
BO	ベネフィット・ワン		100%	4-3月
	キャプラ・インベストメント	[英国] Capula Investment Management	15%	1-12月
	And Do ホールディングス		15.7%	7-6月
DMRE	第一ライフ丸紅リアルエステート		50%	4-3月

その他				
DLRB	第一ライフ・リー・バミューダ	[バミューダ] Daiichi Life Reinsurance Bermuda	100%	1-12月

Copyright © 2026 Daiichi Life Group, Inc.

本資料の問い合わせ先
株式会社第一ライフグループ
経営企画ユニット　IRグループ

免責事項

本プレゼンテーション資料の作成にあたり、株式会社第一ライフグループ（以下「当社」という。）は当社が入手可能なあらゆる情報の正確性や完全性に依拠し、それを前提としていますが、その正確性または完全性について、当社は何ら表明または保証するものではありません。本プレゼンテーション資料に記載された情報は、事前に通知することなく変更されることがあります。本プレゼンテーション資料およびその記載内容について、当社の書面による事前の同意なしに、第三者が公開または利用することはできません。

将来の業績に関して本プレゼンテーション資料に記載された記述は、将来予想に関する記述です。将来予想に関する記述には、これに限りませんが「信じる」、「予期する」、「計画」、「戦略」、「期待する」、「予想する」、「予測する」または「可能性」や将来の事業活動、業績、出来事や状況を説明するその他類似した表現を含みます。将来予想に関する記述は、現在入手可能な情報をもとにした当社の経営陣の判断に基づいています。そのため、これらの将来に関する記述は、様々なリスクや不確定要素に左右され、実際の業績は将来に関する記述に明示または黙示された予想とは大幅に異なる場合があります。したがって、将来予想に関する記述に依拠することのないようご注意ください。新たな情報、将来の出来事やその他の発見に照らして、将来予想に関する記述を変更または訂正する一切の義務を当社は負いません。

Copyright © 2026 Daiichi Life Group, Inc.